

F A X 送付案内

令和2年12月1日

A 4 3 枚 (本状含む)

関係各位



鹿児島県農政部畜産課 家畜衛生係

鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3226 FAX:099-286-5599
eikan@pref.kagoshima.lg.jp

宮崎県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の 確認について (11例目)

平素よりお世話になっております。

本日、宮崎県日向市の養鶏場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜 (今シーズン11例目) が確認されました。本発生は、宮崎県における今シーズン初めての発生です。

※今シーズンは、例年よりも感染リスクが高い状況にあります。引き続き、飼養衛生管理を徹底し、更なる警戒に努めてください。

【概要】

- ・所在地 : 宮崎県 日向市
- ・飼養状況 : 肉用鶏 (約4万羽)

【経緯】

- (1) 11月30日、宮崎県は死亡鶏が増加した旨の通報を受けて、当該農場に対し移動の自粛を要請するとともに農場への立入検査を実施。
- (2) 同日、当該鶏についてインフルエンザ簡易検査を実施し陽性。
- (3) 本日、当該鶏について遺伝子検査を実施した結果、H5亜型であり、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認。

高病原性・低病原性鳥インフルエンザの発生については、世界各地で報告されており、家きん農場等においては、引き続き、侵入防止対策の徹底をお願いします。

なお、家きん飼養農場において本病を疑う症状等が確認された場合は、直ちに最寄りの家畜保健衛生所までご連絡ください。

☆ 個々の農場で！地域ぐるみで！

農場防疫 (バイオセキュリティ) 対策の徹底をお願いします！！

毎月29日 (2月は9日) は畜産の日！県内一斉消毒の日！

鳥インフルエンザに関する情報 (農林水産省HP)

<http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/index.html>



宮崎県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内11例目）及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について

本日、宮崎県日向市の養鶏場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（今シーズン11例目）が確認されました。

本発生は、宮崎県における今シーズン初めての発生であり、これを受け、野上農林水産大臣から防疫対応に遺漏がないよう、11月5日の総理指示を踏まえ防疫指針等に基づいて対応するよう指示がありました。

農林水産省としては、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」を持ち回りで開催し、今後の対応方針（大臣指示）に従い措置を実施することについて確認します。

1. 農場の概要

農場所在地：宮崎県 日向市
飼養状況：肉用鶏（約4万羽）

2. 経緯

- (1) 11月30日、宮崎県は死亡鶏が増加した旨の通報を受けて、当該農場に対し移動の自粛を要請するとともに農場への立入検査を実施。
- (2) 同日、当該鶏についてインフルエンザ簡易検査を実施し陽性。
- (3) 本日、当該鶏について遺伝子検査を実施した結果、H5亜型であり、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認。

3. 今後の対応方針

本日、宮崎県日向市の肉用鶏農場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認されたことを受け、大臣から下記の通り指示があったところ、農林水産省としては防疫措置等について、万全を期します。

記

12月1日の宮崎県日向市における高病原性鳥インフルエンザの発生は宮崎県における今シーズン初めての発生であり、防疫対応に遺漏のないよう、11月5日の総理指示を踏まえ、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」等に基づき、以下の措置を実施することとする。

- (ア) 当該農場の飼養家さんの殺処分及び埋却、
 - (イ) 農場から半径3km以内の区域について移動制限区域の設定、
 - (ウ) 半径3kmから10km以内の区域について搬出制限区域の設定等
- 必要な防疫措置を迅速かつ的確に実施。

移動制限区域内の農場について、速やかに発生状況確認検査を実施。

感染拡大防止のため、発生農場周辺の消毒を強化し、主要道路に消毒ポイントを設置。

（関係者の了解を得られれば）副大臣級を宮崎県に派遣する等により、宮崎県と緊密な連携を図る。

必要に応じて、食料・農業・農村政策審議会家畜衛生部会家きん疾病小委員会を開催し、防疫対策に必要な技術的助言を得る。

感染状況、感染経路等を正確に把握し、的確な防疫方針の検討を行えるようにするため、農林水産省等の専門家を現地に派遣。

宮崎県の殺処分・焼埋却等の防疫措置を支援するため、必要に応じ、各地の動物検疫所、家畜改良センター等から「緊急支援チーム」を派遣。

「疫学調査チーム」を派遣。

全都道府県に対し、改めて注意喚起し、本病の早期発見及び早期通報の徹底を指導。

関係府省庁と十分連携を図りつつ、生産者、消費者、流通業者等への正確な情報の提供に努める。

4. 農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部

農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部

日時：令和2年12月1日（火曜日）（持ち回り開催）

5. その他

(1) 我が国の現状において、家きんの肉や卵を食べることにより、ヒトが鳥インフルエンザウイルスに感染する可能性はないと考えています。

https://www.fsc.go.jp/sonota/tori/tori_infl_ah7n9.html (外部リンク)

(2) 現場での取材は、本病のまん延を引き起こすおそれがあること、農家の方のプライバシーを侵害しかねないことから、厳に慎むよう御協力をお願いいたします。特に、ヘリコプターやドローンを使用しての取材は防疫作業の妨げとなるため、厳に慎むようお願いいたします。

(3) 今後とも、迅速で正確な情報提供に努めますので、生産者等の関係者や消費者は根拠のない噂などにより混乱することがないように、御協力をお願いいたします。

【お問合せ先】

消費・安全局動物衛生課

担当者：星野、下平

代表：03-3502-8111（内線4581）

ダイヤルイン：03-3502-5994

FAX：03-3502-3385